

江濱陽莉 留学準備

長岡造形大学

造形学部 視覚デザイン学科卒

私は、長崎県長崎市で生まれ、幼い頃から絵を描くことが大好きでした。ものづくりへの興味をもとに、長崎県内の公立で美術工芸学科のある波佐見高等学校へ進学しました。そこで仲間と出会い、本格的に美術を学ぶ楽しさや奥深さを知り、もっとアートを学びたいと思うようになりました。そして当時の担任に薦めていただいた、新潟にある長岡造形大学への進学を決めました。

大学では、作品を作るうえで「なぜ」「どうやって」作るのかが繰り返し問われ、自分はなぜ作るのか、表現したいことをどう形にするのかを4年間考え続けました。絵を描くことが好きという気持ちは変わらずありましたが、そこにどんな手法を選び、何を描いて作品として外に出すのかを深く探る日々でした。やりたいこと・やりたくないこと、興味のあること・ないことを確かめるために、自分自身ととことん向き合った時間でもありました。

そうした経験や人との出会いを通じて新たな発見を重ね、大学4年間は自分の世界が大きく広がった時期になりました。それまでなんとなくでしかわからなかった「好きなもの・大切にしたいもの」も、作品づくりを通じて昇華する中で輪郭がはっきりしてきたように思います。今では「自然・台湾・絵を描くこと・周りの大切な人たち」が、私にとってかけがえのない存在だと感じています。

現在は台湾への留学を目標に、少しずつ準備を進めています。お金を貯め、意志を確かにするこの期間も、自分なりの選択を重ねて経験を積んでいきたいと考えています。やりたいことや夢はその時々で変わるものだと思いますが、自分の声を聞き、自信を持って進むことは大切です。そして時には立ち止まり、「今の場所は本当に自分がいたい場所なのか」と問いかけ、別の道を選んでもみることも、きっと自分の世界を広げるきっかけになるはずです。